

松本秀峰中等教育学校（松本市埋橋2）のオーケストラ部は、26～29日に東京都内で開かれる全国高校選抜オーケストラフェスタに出席する。昨年の同部

の定期演奏会で披露したベートーベン「交響曲第7番」の第1楽章を披露し、本番直前の詰めの練習で完成度を高めている。徒たちは、顧問の古原さよ子非常勤講師の指

全国で響け 成長の音色 松本秀峰オケ 選抜大会へ



練習に励む生徒たち

揮に合わせて纖細に、時には豪快に音色を奏でていた。

同フェスタには連盟に加盟していれば出場できるが、オーケストラ部がある高校は珍しく、中南信では同校のみが出席する。部長で5年生の滝沢愛さん（17）は、定期演奏会で同曲を演奏した時よりも「他のパートの演奏が分かるようになつた」とゆとりを持てるようになつた。「細部まで練習できている。緊張せずに、練習の成果を出したい」と意気込んでいる。

もう一人の顧問の瀬川伸教諭は、入部時はほとんどが初心者の生徒が先輩から演奏を教わるなどして成長し、部も着実に発展したことに「よくここまで弾ける、吹けるようになつた」と感慨を覚えていた。

（赤羽洋輔）